

7月3日(日)2016年第1回日本語能力試験 世界各地で39万人が挑戦！海外の応募者数は1万5000人増加

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、7月3日(日)に、海外32の国・地域の120都市で、日本語能力試験(JLPT)を実施します。この試験は毎年2回実施されており、世界最大規模の日本語を母語としない人の日本語能力を測定し認定する試験として、今年で32年目を迎え、試験を実施する国・都市も年々増加しています。昨年同時期の試験と比べても、海外では1万5000人、日本国内でも3万人受験者が増え、特に海外では、引き続き東南アジアでの増加が目覚しく(9.4%)、関心の高さが伺えます。今回増加率が最も高いフィリピンでは、国内での日本企業の進出などにより、学生や社会人の日本語学習への熱が上がっており、さらにJLPTの実施回数を年1回から2回に増やしたことも試験の認知度を向上させ、今回の2倍という大幅な応募者増につながっています。

■ 2016年第1回(7月)日本語能力試験の概要

- 【実施日】 2016年7月3日(日)
- 【実施都市】 海外32の国・地域、120都市、日本国内45都道府県
* 国際交流基金は海外分を、公益財団法人日本国際教育支援協会が日本国内分を実施
- 【応募者数】 約39万人(海外 約27万人 / 日本国内 約12万人)
- 【実施レベル】 N1~N5の5レベル (N1が最も難易度の高いレベル)
* レベル毎の認定(合格)の目安および詳細は、ウェブサイト(<http://www.jlpt.jp/>)をご覧ください。

■ 海外の応募者数

26万8,818人 2015年第1回試験より海外全体で5.8%増加 東南アジアでは9.4%増加
応募者数の上位3か国・地域および著しく増加率の高かった3か国は以下の表のとおり

	国・地域		応募者数(人)	前年比増
	順位	国・地域		
応募者数上位3か国・地域	1位	中国	117,135	1.1%
	2位	台湾	39,055	5.0%
	3位	韓国	37,824	8.6%
その他、増加率の高い国	フィリピン		4,642	100%
	ミャンマー		2,513	89.4%
	ベトナム		33,161	24.8%

■ 試験結果の活用例

- ・ 「高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇制度」でのポイント付与
- ・ 厚生労働省所轄の医師国家試験、准看護師試験等の受験資格認定
- ・ EPA(経済連携協定)に基づく看護師・介護福祉士候補者選定の条件(インドネシア、フィリピン、ベトナム)

●本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 日本語試験センター(担当:安藤)

Tel: 03-5367-1021 / E-mail: jlptinfo@jpf.go.jp

●ご取材に関するお問い合わせ: 国際交流基金 コミュニケーションセンター(担当:川久保、森)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp